日本ラテンアメリカ学会研究奨励費申請書

年　　 月　　 日記入

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | | 生年月日 | 年　　月　　日 |
| 所　　属 | 現在の所属機関・職名 | | | |
| （院生の場合）　　　　　　　　大学　　　　　　　　 研究科　　　　　課程　　 年 | | | |
| 連　絡　先 | （〒　　　　‐　　　　　）メールアドレス：  TEL：　　　　　　　　　　　　　　　FAX： | | | |
| 海外研究協力者  所属機関・ 職名 |  | | | |
| 研究期間年月日 | 年　　 月　　 日 ～　　　　　　年　　 月　　 日 | | | |
| 推薦者 | 氏名 | | | |
| 連絡先：メールアドレス | | | |
| 必要経費 | 総額　　　　　　　　　　　　　（内訳：　　　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| その他の助成金から費用の一部を支弁されている場合はその金額　＿＿＿＿＿＿＿＿円 | | | |
| 研究題目  英語・スペイン語・ポルトガル語以外の場合は和訳を付記 |  | | | |
| ＜研究概要＞  **研究計画調書作成に当たって留意すること**  **○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○**  **留意事項①：**  *以下の内容を熟読・理解の上、研究計画調書を作成すること。*  　本研究奨励賞はラテンアメリカ研究者の自由な発想に基づく全ての分野にわたる研究を格段に発展させることを目的とし、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究を支援します。  　　本奨励費では、応募者が自ら自由に課題設定を行うため、提案課題の学術的意義に加え、独自性や創造性が重要な評価ポイントになります。研究計画調書様式では、学術の潮流や新たな展開などどのような「学術的背景」の下でどのような「学術的『問い』」を設定したか、当該課題の「学術的独自性や創造性」、「着想に至った経緯」、「国内外の研究動向と本研究の位置付け」はどのようなものか、「研究協力者は本研究計画にどのように携われるのか」・「研究成果をどのように発信するか」などの記述を求めています。審査においては、学術的な意義や独自性、創造性など学術的重要性を評価するとともに、実行可能性も含めて総合的に判断します。  **留意事項②：**  *作成に当たっては、募集要領を必ず確認すること。*  *本文は１１ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。*  *各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。*  *指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。*  **○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○** | | | | | |
| ＜研究計画＞  留意事項②：   1. *作成に当たっては、募集要領を必ず確認すること。* 2. *本文は１１ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。* 3. *義務目標（報告など）と想定目標（投稿など）に触れること。* 4. *指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。* | | | | | |
| 学歴・職歴 | |  | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 関連する他の資金（あるいは申請予定）  ※特に審査の際に実現可能性をみるうえで必要となります。 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発表テーマに  関連した業績  （2点まで） | 著書名または論文名 | 発行所または掲載誌名 | 年 |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 審査担当委員  所見 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| ※申請資格  （事務局で記入） | 会員歴：　　　　　　年入会　　　会費納入状況：　　　　　　年度まで完納  本学会からの助成受領経験：　　　　　　年に　　　　　　　円を受領 |